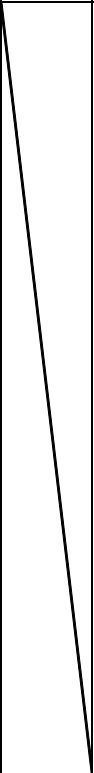


地区懇談会におけるご意見・ご提案等(6/30柿田区公民館)

発言要旨	当日の回答要旨	回答者	補足
■小中学校のエアコンの設置時期について 今年の夏までに町内小中学校にエアコンを設置するという公約がある。最終的には、キュービクルの製造が間に合わないとのことで、全校にエアコンが設置されるのは8月の半ばとなってしまった。しかし、同じ時期にスタートした富士市や焼津市では先日エアコンの設置が完了した。なぜ、清水町だけできなかったのか。町は業者に対し約束の期限までに設置できるよう、どう発破をかけていたのか。	富士市や焼津市は昨年8月以前から取組があったと承知している。どういう手順で富士市や焼津市が夏までに設置が間に合ったかという情報を集め、また、報告をさせていただく。 町は、夏に間に合わせるため、業者と契約日なり熱源等を検討し、逆算し業者と交渉してきた。キュービクルも業者から4か月で製造できると回答を得ていた。 しかし、エアコンの設置に当たり、国の補助金が受けられることで全国一斉に市町が手を上げ、キュービクルの需要が高まり製造が1か月遅れとなる報告を受けた。この報告を受けて町は適切に業者と交渉し、学校長等へも説明をしてきた。 西小学校と南中学校は本日設置が完了した。清水小学校、南小学校、清水中学校は設置数が多くリース契約になるが、先程説明したとおり設置が遅れ稼働が8月中旬になる。	教育長	
■小中学校のエアコンの設置時期について エアコンを夏までに設置できなかったことについて、子どもたちに謝っていただきたい。	クラス数によって直接工事契約ができたのは西小学校と南中学校であり、本日(6月30日)設置が完了した。クラス数が多い清水小学校、南小学校、清水中学校については、契約金額が議会の議決が必要な金額となるため、議会の了承を得てリース契約を交わした。リース契約の分については、物理的に期限に間に合わないとして、先日保護者の皆様に謝罪を含め文書を出させていただいた。期待をしていた子どもたちには大変申し訳ないと思っている。今後頑張って早く稼働できるようにしたいと思う。	町長	
■小中学校のエアコンの設置時期について 「キュービクル」や「リース会社」とは何の話でしょうか。	「リース会社」とは、エアコンのリース契約会社である。「リース会社」が直接工事をするのではなく、町とリース契約をする。 「キュービクル」は、それぞれの家庭にプレーカーがあるように大きな施設には大きなプレーカーが必要になり、それが「キュービクル」。 エアコンが設置されると、既存のキュービクルでは容量が足りないので取り替えなければならない。取り替えるに当たり、キュービクルは受注生産であり、必要な分しか製造されないため、生産までに時間がかかる。その上、全国的に需要が高まったため、期限までに製造が間に合わなくなってしまった。	町長	
■学校給食での地産野菜の利用等について 学校給食は委託業者がつくっている。先日(6月25日)、農業委員の皆さんから町へ野菜が寄贈されたが地元の野菜は給食に使われるのか。	給食の食材は町が指定した業者に納品させており、地産地消を積極的に取り入れている	教育長	農業委員の皆様から寄贈していただいた野菜は、7月1日から7月4日にかけて、カレー、スープ、みそ汁、ポトフなどとして小中学校5校の給食に提供されました。
■学校給食(委託)での地産野菜の利用等について ほうれん草などは調理済みのものを冷凍したものを使っていると保護者から聞いているが、委託業者に地元の野菜を提供しているということか。	委託業者に提供しているのではなく、町が納入業者を指定し納品するシステムとなっている。	教育長	
■学校給食(委託)での地産野菜の利用等について 私の孫が小学生の時、学校給食は給食のおばさんの手作りで大変おいしいと喜んでた。どうして清水町の学校給食は委託にしたのか。がっかりだ。	(要望)		

■ごみステーションの設置について ゴミステーションが道路工事により使えないため、区長に相談し、現在一時的に柿田区公民館に出させていただいている。工事終了後、元の場所が余地がなくなりごみステーションとして使用できないと聞いているが、町で別途場所を世話していただけないか。	ごみステーションの場所は町が決めるのではなく、皆さんで話し合って地区で決定し、町へ報告をしていただいている。 できれば通行の邪魔にならないところが理想だが、ごみステーションは歩道上でもかまわない。	町長	
■ごみステーションの設置について 工事終了後も元の場所にゲージ等を設け、ごみを置くことができれば一番いいが。	ゲージを設けるとそこがごみステーションだとはっきりわかり、ごみの収集日以外にも不法投棄をする方がいるため、町としてはあえて何も置かないこととしている。	町長	
■町政への要望等 ①②まちづくりビジョンの内容について ①「まちづくりビジョン」は選挙戦の時の関町長のパンフレットの内容と同じであるようだ。4月22日の静岡新聞(朝刊)に掲載の町長の言葉の中に「批判票も受け止め、町政運営に努めていきたい」とあり、この言葉を信じるならば、「まちづくりビジョン」がパンフレットと同じということは理解できない。本当に批判票も受け止め、町政運営をしていくのか。 ②町長選挙のもう一人の立候補者の主張の中に「安全安心に暮らせるまちづくり」があった。今後の町政運営の中で「安全安心に暮らせるまちづくり」は町民の多くが第一に望んでいるのではないかと思うので推進していただきたい。 ③④地区懇談会の開催回数等について ③4月22日の静岡新聞(朝刊)に掲載された町長の言葉の中に「和をもって町民の気持ちを一つにしたい」とあるが、地区懇談会が5か所できしか開催されずがっかりした。私は一番近い会場は地域交流センターだが、都合がつかずここへ来た。「和をもって町民の気持ちを一つにしたい」のであれば多くの町民の声に耳を傾けるのが最高責任者の責務であると思う。 ④今朝(6月30日)の静岡新聞の記事の中に町長が「町長室のドアは常に開いている、意見や要望があればいつでも来て」と掲載されている。町長室へ行って、自分の意見を述べることは難しいので、地区懇談会を春と秋など進めていっていただきたい。 ⑤町民への情報提供について ⑤新しい事業をするのに振り返り検証するなど町民に説明が少ないようだ。柿田川周辺地区都市再生整備計画のホームページの情報が更新されていない。町は正確な情報を町民に伝えて欲しい。でないと、地区懇談会等で話しかみ合わないことも出てくる。 ⑥小中学校へのエアコンの設置について ⑥小中学校へのエアコンの設置の件であるが、6月30日までに設置できるということで札を入れ、契約した。期限までにできないのならその契約はおかしい。業者選定の際、2社しか札を入れていないことから、町もその契約で大丈夫かということを思わなかったのか。	(要望)		

■今回の地区懇談会について ①地区懇談会の開催回数等について ①町民主体の政治を行うのであれば、地区懇談会を全地区で開催していただきたい。町長は、町民主体のまちづくりを本当に考えているのか。 ②まちづくりビジョン中の「信頼・責任・誇り」について ②「信頼」の意味とは、町長が町民を信頼してくださっているのか、それとも町民が町長を信頼して投票したということか。もし町長を信頼して投票したということであれば、私たちの意向がどういうところに反映されているのか。もっと具体的であってよいのでは。 もっと町長が町民の声に耳を傾け、問題が起きた時の懇談会には直接関係者との懇談会を開催すべきである。福祉センターのお風呂が廃止された際、お風呂利用者の意見を言わせていただけなかった。本当に町民を信頼しているのか非常に疑問だ。 「責任」については、先程のエアコン設置について、(期限までの設置が)もしダメだということが分かり、責任をとるということであれば、関係者のみならず町民全体にダメになったことを知らせるべきではないか。関係者のみでは町民全体に伝わったとはいえない。町民主体の政治とは思えない。町長が本当に町民のことを思うのであれば、謙虚に全地区で地区懇談会を行うべきである。 「誇り」については、私は、福祉センターのお風呂に入りたい人が無料で入れる清水町に「誇り」をもっていた。しかし利用者の了承も得ずに廃止したことは我々の誇りを、ずたずたにした。前町長がすべて悪いとは言わないが、清水町の政治の方向であったのではないかと私は感じている。だから踏襲すると簡単に言うが、関町長としての「信頼・責任・誇り」をもっと頑張ってやっていただきたい。	(要望)		
■学校のトイレの洋式化について 学校のトイレを洋式化する予定はありますか。	現在、洋式化を進めている。小学校は終了し、今年度中学校2校を整備している。ただし、保護者から和式便器も一部残していただきたいとの要望もあり、一部残した中で整備を進めている。	教育長	
■2020東京オリンピックの聖火ランナーについて 聖火ランナーは、なぜ、清水町を通らないのか、清水町がコースから外れたのか、その背景がわかったら教えてほしい。	県内35市町すべてをまわれないことは承知していた。コースを決定する実行委員会には市町は入っていない。清水町もゆうすいクリテリウム大会など自転車競技の機運醸成に力を注いできた。新聞発表の前日夜に県から報告があり、決定事項であってどうにもならなかった。先日、県には函南町長とともに、意見を言わせてもらった。	町長	
■中学生のスポーツ活動の成績について 最近、中学生のスポーツ(特に球技)の成績がよくない。学校と教育委員会、体育協会がうまくコーチングなどアドバイスができているのか。	サッカーや野球などは外部団体に所属する生徒が多く、チームが組めないため、清水中学校と南中学校とで合同でチームをつくり特別に認めていただいている。 現在、学校と体育協会、教育委員会の三者で子どもたちのスポーツが盛んになるよう、また、スポーツ団体の育成ができないか、その可能性を探っている。 個人では全国的にも良い成績を収めている生徒はたくさんいるので、もっと子どもたちの活躍を広報していく必要もあり、また、子どもたちが活躍できるようなスポーツ環境整備を関係団体で話したい。	教育長	